担当業務・レベルにあわせ、下記パターンを参考に各コースをお申込みください

※下記は、参考コースです。受講者のレベルにあわせ、(上級をうけず)初級・入門コースのみの受講などご選択ください。

※単コースでの受講も可能です。

★ 申込み例：　パターン２の場合、A,B,Eのコースを選択。各コースのページからそれぞれ申込み。

コースの簡単な説明	セミナー時間	取り上げる主な統計的方法およびトピック	想定している受講者層→ 【パターン１】 GMP, GQP, 研究開発の各分野の実務担当者向け／部下の仕事を適切に評価するためにも有用 ↓こちらのコースをお申込み↓	【パターン２】 GMP, GQP, 研究開発の各分野の実務リーダー向け ↓こちらのコースをお申込み↓	【パターン３】 分析法バリデーションの実務担当者、実務リーダー、専門家を目指す方向け ↓こちらのコースをお申込み↓	【パターン４】 品質保証・品質管理の実務担当者、実務リーダー向け ↓こちらのコースをお申込み↓	【パターン５】 研究開発部門などでデザインスペースを研究する方、製造現場で問題解決や改善を合理的に進めたい方等向け ↓こちらのコースをお申込み↓	【パターン６】 組織内でデータサイエンスの指導的立場を目指す方向け ↓こちらのコースをお申込み↓
【Aコース：入門(5/31)】 **科学技術者としての基礎力を身につけるコース** 社内の導入研修にも 入門レベル	2.5～3.0	ヒストグラム 標準偏差と標準誤差 正規分布表、t分布表の使い方 平均値の信頼区間 相関係数 回帰分析（単回帰分析）	●	●	●	●	●	●
【Bコース：初級(5/31)】 **GMP/GQP分野で仕事をするのに役立つ知識を身につけるコース** 初級レベル	2.5～3.0	平均値の差の検定・推定 対応のある差の検定・推定 対応のある差の検定と回帰分析の関係 x-R管理図 p管理図 工程能力指数		●			●	●
【Cコース：初級(7/29)】 **分析法バリデーションへの応用に特化したコース** 初級レベル	2.5～3.0	標準偏差の信頼区間 分散分析概論 併行精度 室内再現精度 真度 直線性 枝分かれデザインの紹介			●			●
【Dコース：中級(7/29)】 **サンプリング試験の全体像を把握し、適切に設計、運用するためのコース** 中級レベル	2.5～3.0	離散データの取り扱い AQL指標型抜き取り検査（受入検査） LQ指標型抜取り検査（出荷試験） 計数基準型抜き取り検査 計量基準型抜き取り検査（平均値保証） 計量基準型抜き取り検査（不良率保証）				●		●
【Eコース：上級(9/30)】 **QbDの理解に必要な統計手法をまとめたコース** と同時に、中級までで学習した内容について、掘り下げた議論ができるようになりたい方向け。 上級レベル	5.5～6.0	一元配置分散分析 二元配置分散分析 枝分かれ分散分析（誤差の階層構造） 直交配列表（実験効率の向上） 乱塊法（バイアスを防ぐ） 繰り返しのある回帰分析 重回帰分析 分析法バリデーション鹿庭本解説 さくら（開花）錠モック解説			●		●	●